

9月2日 長雨の台風が通過した翌日、台所の窓にお客さんが来ました。オオカマキリです。逆さになっておはようの挨拶をしに来たのかもしれませんが。昆虫のお腹からじっくり観察できるのも面白いです。体は頭・胸・腹に分かれていて、胸から6本の足が出ているのが観察できます。秋はカマキリが卵を産む季節。こんな風によく出没します！

紅葉台



新聞

第150号
2024年
10月5日
発行人：関谷 孝

「オノマトペ」について

関 邦義

「すくすく子育て」「ダラダラあいちゃん！」「ガリガリ君」「モヤモヤさまぁ～ず」「今週のぼかぼか」。これらは、ある日のテレビ欄に載っていたもので、もちろん皆さんご存じのように「オノマトペ」と呼ばれる擬態語・擬音語が用いられています。「オノマトペ」は、ほとんどすべてのテレビ局で用いられており、それだけ日本人には馴染み深いと言えるでしょう。また、最近コンビニやスーパーの商品などで、「パリサク」「ザクホク」といった表現を見かけます。もちろん「パリサク」は、「パリパリサクサク」を省略化したものでしょうし、「ザクホク」は「ザクザクホクホク」または「ザックリホクホク」を縮めたものだろうと推測されます。

これらの言い方は子どもが好んで使う印象が強く、学問分野では軽視される傾向にあったらしいのですが「実は、非常に高度な日本語なんです」と、秋田喜美(名古屋大学大学院人文学研究科准教授)さんは述べています。オノマトペは世界中にあるようなのですが、秋田さんは、その著『言語の本質』(今井むつみさんと共著:中公新書)の中で、次のような紹介をしています。

①ワフワフ(仏語)、②オジルオジル(韓国語)、③ゲンゲレンゲ(カメルーンなどで使われるバヤ語)。これらは、日本語なら①ワンワン、②クラクラ、③ゲツソリを指します。秋田さんが世界の言語を調べたところ、オノマトペにしやすいのは声や音で、理論や論理といった抽象的な概念はオノマトペにしにくいようです。

〈具体例〉

レベル1:声・音 … ワンワン(イヌの鳴き声)。他言語では、バウワウ(英語)、ワフワフ(仏語)、モンモン(韓国語)。

レベル2:動き・形・手触り … ドンドン、ズンズン、ズカズカ、ノロノロ、ツルツル、サラサラ。



レベル3:身体感覚・感情・味・におい・色 … ヒリヒリ、キリキリ、ワクワク、ウジウジ。

レベル4:論理的関係 … オノマトペを持つ言語は見つからない。

外国語に比べ、日本語のオノマトペの数は、一般に知られている主要なものだけでも数千種で、数百種とされる英語などと比較しても多い。しかも、近年明らかに増えてきていると言われます。「ぴえん」(泣いている様子)や「ゆるふわ」(ゆるり、ふわりとしている様子)といった言葉が若年層を中心に流行しました。

日本でオノマトペが普及している理由は明らかになっていませんが、秋田さんは最近、オノマトペが秘めた「潜在能力」に気づいたそうです。感じた痛みを相手に伝えるように表現するのは難しいものです。腹が痛いとき、「絞られるように」

「切り裂かれるように」などの比喩より、「キリキリ」「シクシク」などの方が相手に伝わりやすい。そんな傾向が、日本語話者150人に対して実施した実験でみえてきたそうです。

さらに、外国人作家のロジャー・パルバースさんは『驚くべき日本語』(集英社文庫)の中で日本のオノマトペについて「柔軟性と表現の豊かさを生み出す」とし、日本語は「世界にもまれな言語」だと述べています。そんな日本語の長所を、一度見直してみませんか。

粕谷和夫の観察日記



毎月野鳥の定期カウントに行っている八王子市川町谷戸の田んぼの稲穂の状況です。(8/25)イノシシ除けの電気柵に感電しながらシャッターを切りました。この稲穂の近くには、全身

真っ赤なショウジョウトンボ(猩猩蜻蛉)が止まっていました。



ツチグリ(土栗)というキノコです。

8月25日八王子市川町谷戸のシイタケのソダギ林で出会いました。普通のキノコの形(傘があってその下に柄がある形)と違って、なんとも奇妙な形をしています。栗の穂(いが)がはじけた姿に見えることから名づけられています。



田んぼに稲穂が目立つ頃になると蜘蛛も目立ってきます。この写真は八王子上川の里で不耕起栽培している田んぼで8月28日撮影のナガコガネグモです。このクモが田んぼに網を張ると網の上側の左右の稲穂が束ねられたようになり、稲に異変が起こったように見えます。(写真上)

写真下はこのクモの裏側で、凶鑑に出ている表側の模様と異なります。このクモは稲の害虫カメムシ、イナゴ、ウンカ等を食べてくれる「稲の守り神」です。

秋は、月が綺麗ですね

お月見のお供えものは、近所の子どもが盗んで良いとされていました。お月様が食べてくれたと考えるので、盗み食いが歓迎されたのです。今は見かけませんが・・・今年の中秋の名月は9月17日(火)・十三夜は、10月15日(火)です。



紅葉台新聞は、「高尾フモト同盟」のHPに公開されています。高尾の情報や働く人たちが紹介されています。興味を持った方は、覗いてみてください。また、皆様からの情報や投稿もお待ちしています。